

退魔師 光月花蓮は
薙刀の名家である「光月家」の
頭首「光月宗次郎」の一人娘である

ここまでのような
性獣：

ぐっ：あたしが
ここまで
追い詰められるとは

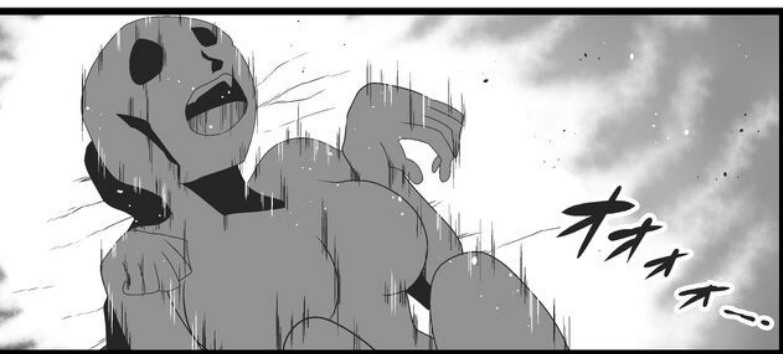
彼女の扱う薙刀は
特殊な霊力が込められており
そこから繰り出される一撃は
強烈な力を秘めていた

これまで
どれだけの男と性を
貪ってきたか：
貴様の罪は万死に値する

どこまでも下品だな
もう話している時間が
惜しい：終わりに
するぞ

うるせー！マンコ見せろ
メスガキー！！

おのれ：
ションペンガキの分際でよくも
その服をひん剥いて処女臭いマンコに
あたしのガチガチチンポを
ぶち込んでやろうと思ったのに



えっやだあ♥
すっごく可愛い娘
あたしのタイプだわあ
さすが小豆姉様♥

でしょ♥
あんな強くて可愛い娘が
エロくて不気味な性獣になると思うと
ゾクゾクするでしょ♥



綾乃…沙織…雫…
一体何処へ行ってしまった…



どうやって
あたし達と一緒に
するの？



大丈夫よ♥
もう手は打ってあるわ

一週間前――

京の陰陽道
“退魔師連盟”

なっ…神楽三姉妹が
行方不明…

うむ…奴等に任せていた土地には
性獣の様な弱い妖しかおらん…
あの娘達が性獣等にやられるとは思えんのだが…

う…む…何かよからぬ事が
起きておらねば良いが

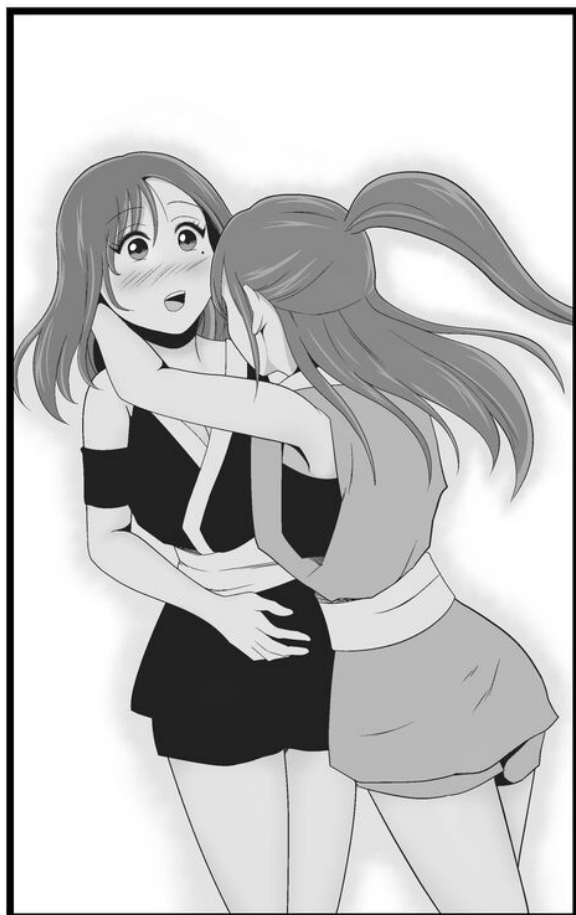
私が行きます！

私が行って必ず
三人を見つけて来ます！

そうか…行ってくれるか
くれぐれも無理はするなよ

この辺りは性獣しか出ない
あんな下等な妖にいつ等が
負けるはずがない…
ましてや綾乃がいるんだ

綾乃…会いたい…



綾乃！お前が行方不明になっ
たっつて聞いてめちやくちや
心配したんだぞ！

もう
心配ないわよ
私はちゃんと無事よ

沙織や雫はどうした？
あいつ等も無事なんだよな？

それが…

……

……

何処を探しても
見当たらないの…
でも性獣にやられたとも
思えないし…

ええ…

そうか…あいつ等は
本当に行方不明なのか…

綾乃…
私も協力する
二人で搜索を続けよう



えっ…いや
そりや当然だろ昔一緒に
修行した仲なんだし



やっぱり花蓮は
頼りになるなあ

ありがとう！



お前達が
京を離れてぶりだから
随分経つな…

そうね
そういえばこうして
一緒に食事するのも
久しぶりかしら？



わっ！綾乃
何だよ急に…

アイ

ふふ…私がついであげるわ

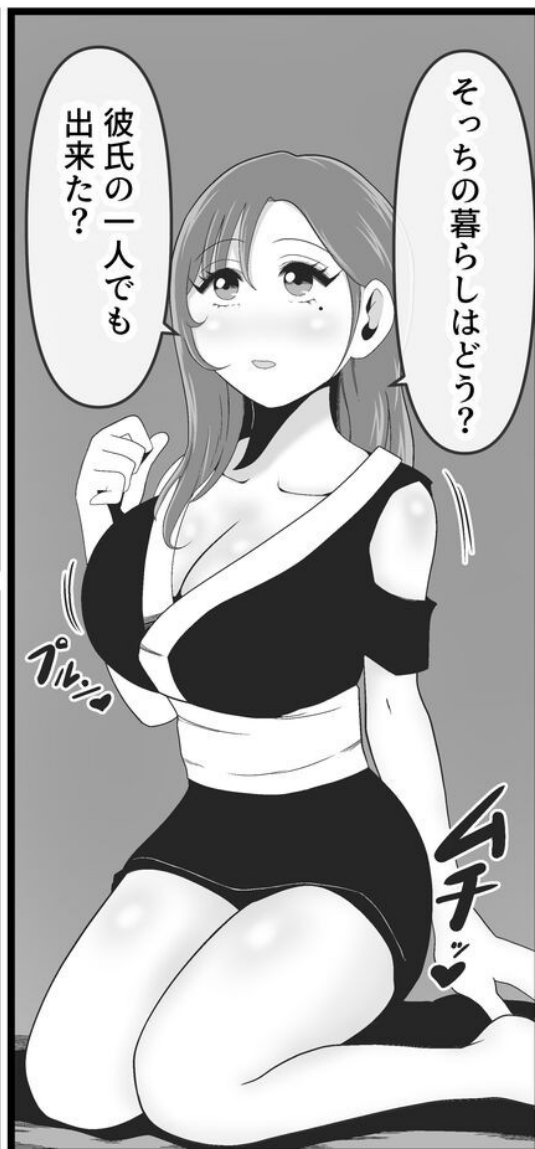


はは…そんなのいないよ

それにしても…
何だか綾乃のやつ…

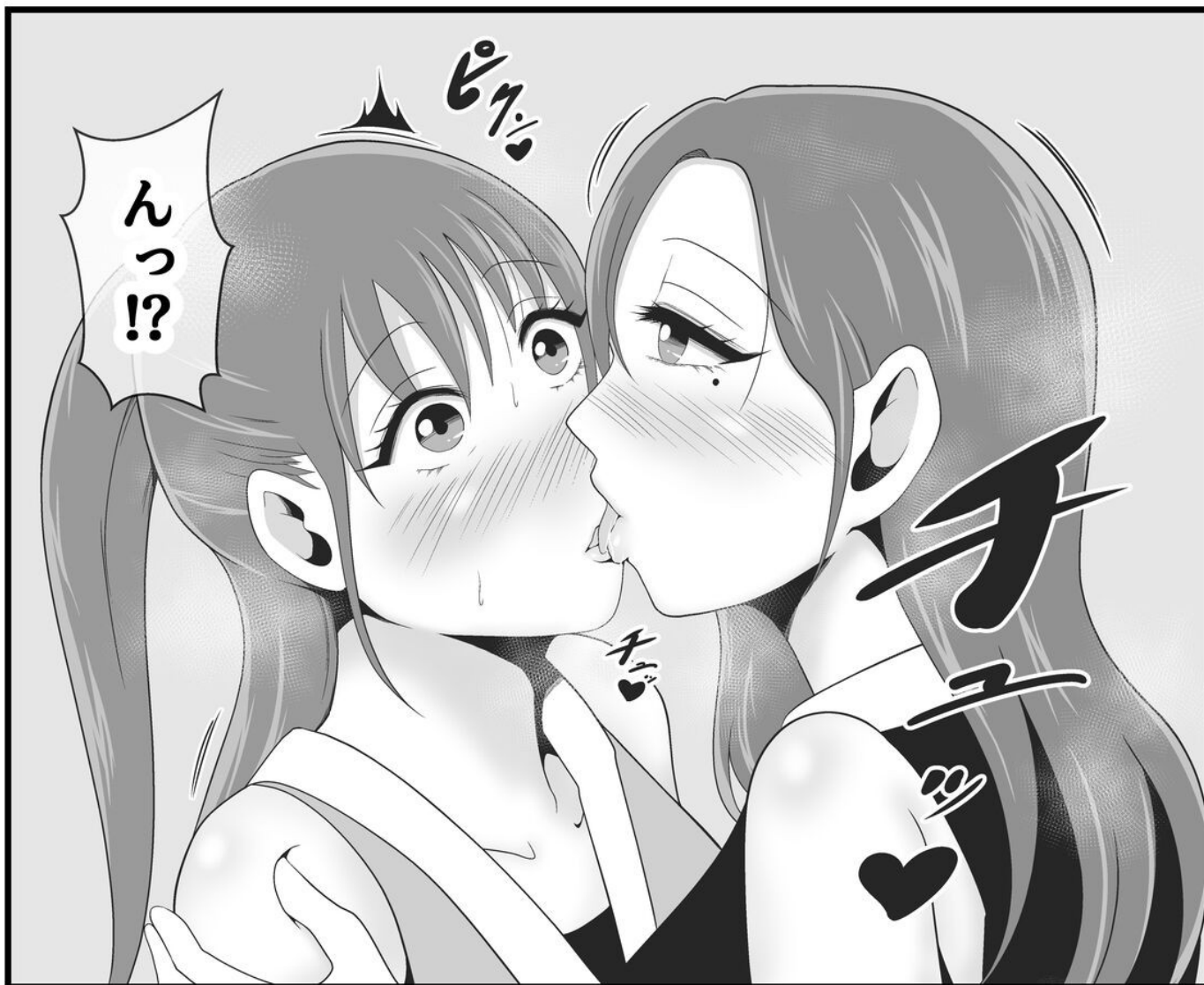
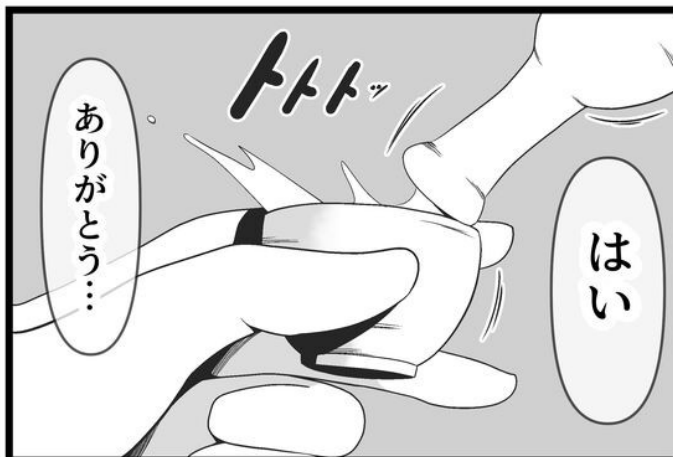
あらそう

見ない間に随分と
色っぽくなったなあ
久しぶりに会うから
そう思うだけか？



そっちの暮らしはどう？

彼氏の一人でも
出来た？



綾乃? 一体
どうゆうつもりだ

何が…いや
それより…意識が
遠く…



ふふふ…
油断したわね花蓮



これで人としての
光月花蓮はお終いよ…

……

あれ…私…何してたんだっけ…



これは!!
私は…何故!!

うああっ!!
なっ…妖!!



くくく
身動きがとれまい



うっ…身体が
動かない…

くそっ…妖術か…



見たところ性獣…
だが…何だこいつは

何だこいつの…



ようこそ♥
歓迎するわ花蓮ちゃん



妖力は!!

底すらない…





すっごくエッチで強い
性獣になってもらいたいの♡



いやああああ!!

ふんっ!

もしそんな事が
可能だとゆうならば…
もう既に何人かの退魔師は
こいつ等の餌食になっている
可能性も…



はっ?…なるって…
どういう事だ…そんな…

人を性獣に…妖に
変えるとゆう事か?
そんなバカな話
聞いた事がない…

くそっ…身体よ動いてくれ…
このままじゃまずい…

グイ
おおこれは何ともすべすべの肌じゃ
素晴らしい触り心地よ…

うう…やめろ…
私に触るなあ…

それにこのおっさんの臭い
臭くて甘酸っぱい臭い…
ツンとした刺激臭のせいで
クラクラして頭が回らない…

さて…んは…

いっだ！

ピクッ
ほお…完全に乾いておるか…
濃等の体臭には媚薬効果が
あり嗅いでいるだけで
普通の女子なら薄っすら
発情するのだが

なるほど…

これはなかなか手強いのお
おそらくこの娘は元々極端に
性に関心がない…それに加え
濃等に対する嫌悪感…
ここまで性に鈍感だと
受妖が成立しない可能性がある

もし仮に成功しても…
その後覚醒するまでに
時間がかかりすぎてしまい
孵化する前に
廃人になるおそれがある



“生穴八手絡み”



よし…ならば
あの手でゆくぞ



貴様にはそいつに寄生してもらい
徐々に一体化してもらおう…
そして一体化したその後に
受妖してもらい…最期に儂の
“性汁”によって孵化するとゆう流れだ

やっ…やめろ…
来るな…化物…



ぐえっ…おぎゅっ…

いやだ…こんなのを
狂ってる…どうして
こんな事になった

やめろー！
やめてくれー！もう
来ないでー！！

逃げなきゃ…でも
どうやって…ダメだ
頭が混乱して…

イシエル

イシエル

イシエル

いやあああああ！！

ビクッ

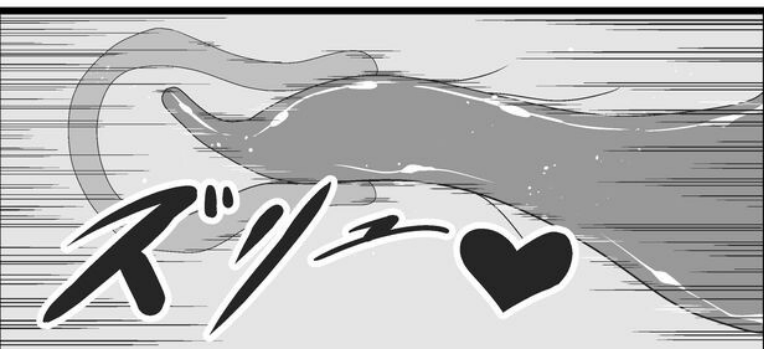
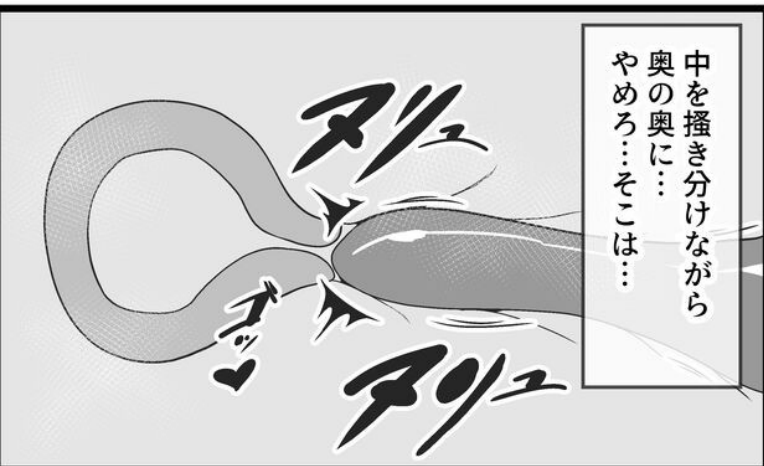
ウジエル

ウジエル

くっ
い♡

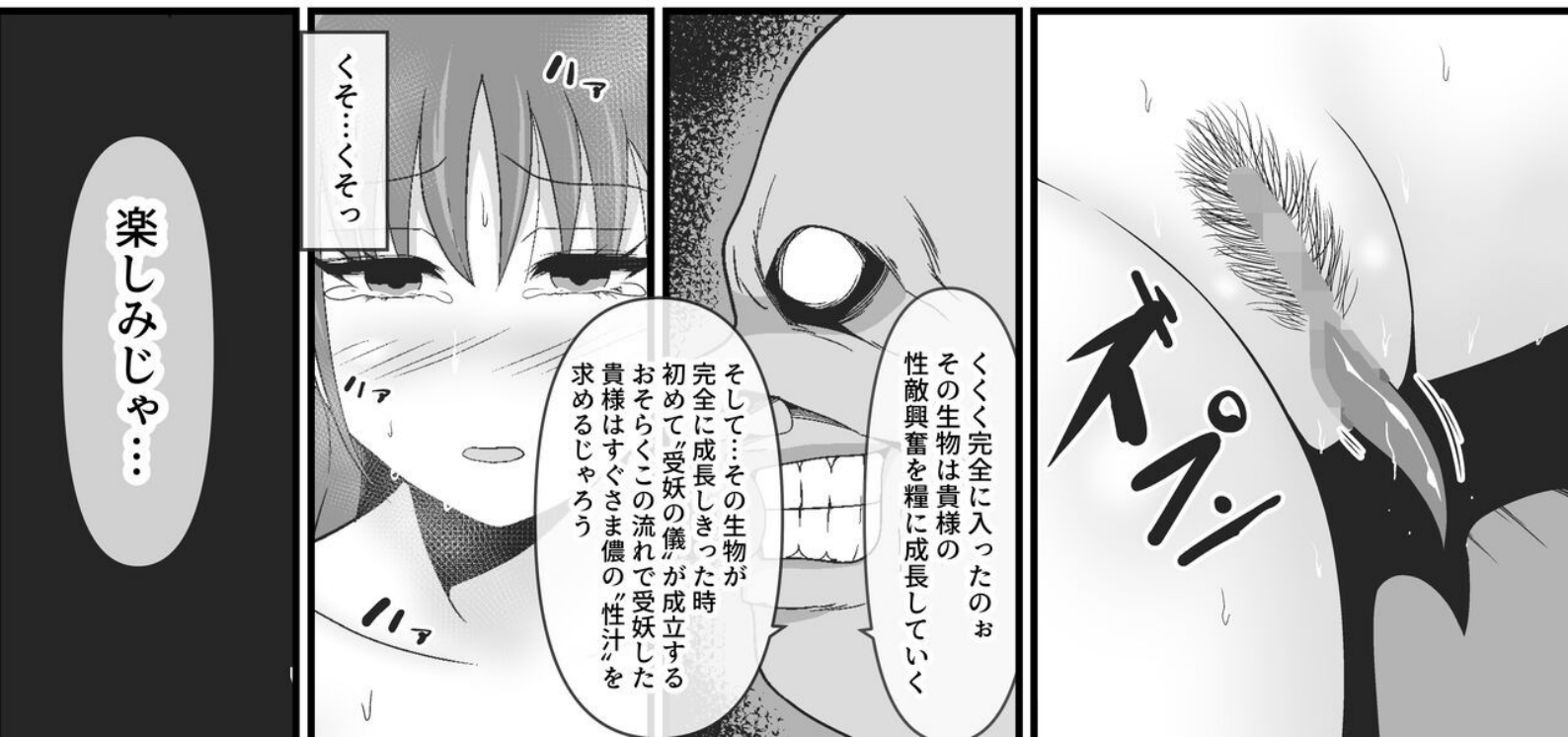
あつ！ダメ…
そこは…入れちゃ…

んぐっ♡





いやああああああ!!



くそ...くそっ

ハッ

ハッ

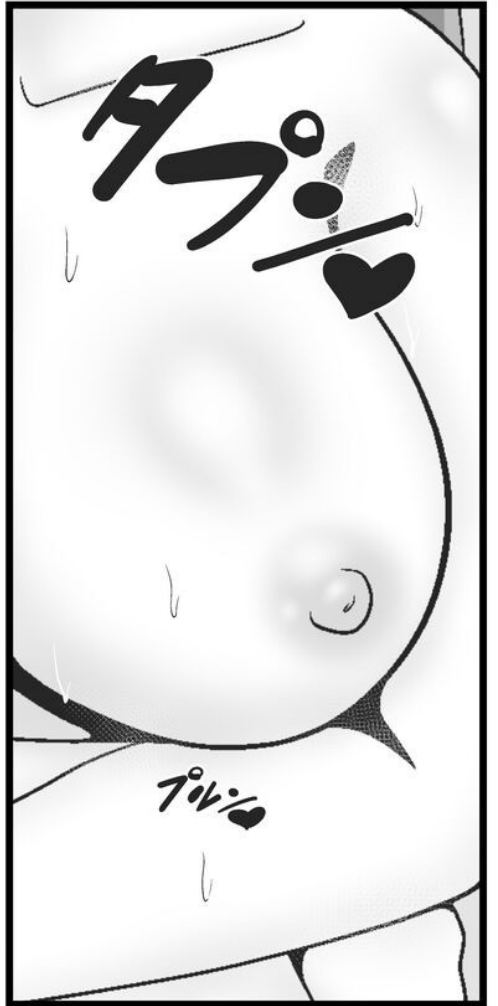
ハッ

そして...その生物が
完全に成長きった時
初めて「受妖の儀」が成立する
おそらくこの流れで受妖した
貴様はすぐさま僕の「性汁」を
求めるじやろう

くくく完全に入ったのお
その生物は貴様の
性敵興奮を糧に成長していく

楽しみじゃ...

寄生から一日目



おおく育つとる育つとる
順調そうじゃのお



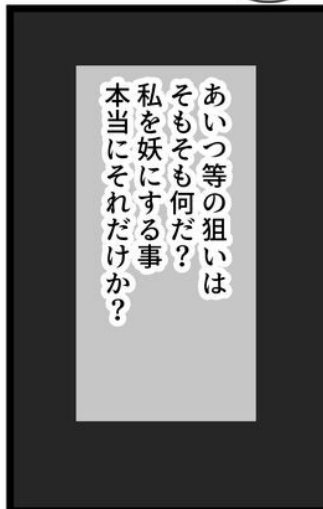
正直事態がまだ
飲み込めない...どうして
こんな事になった...?

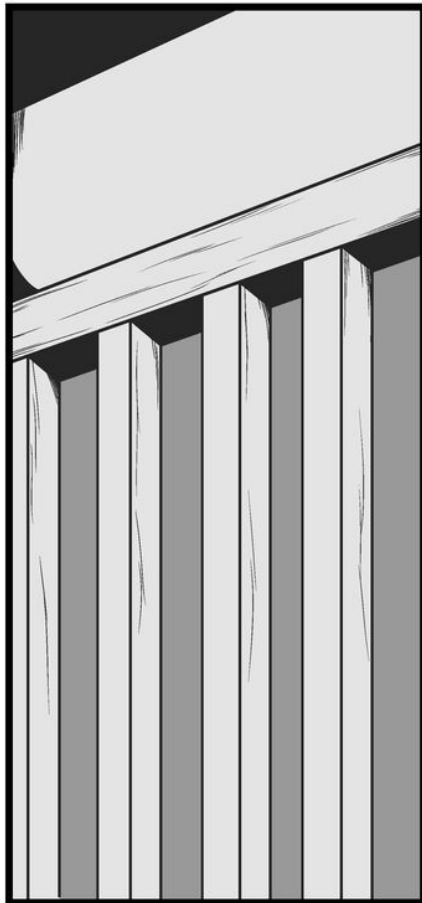


ここから出たら
まずお前から八つ裂きにしてやる
覚悟しておけ!



化物め...

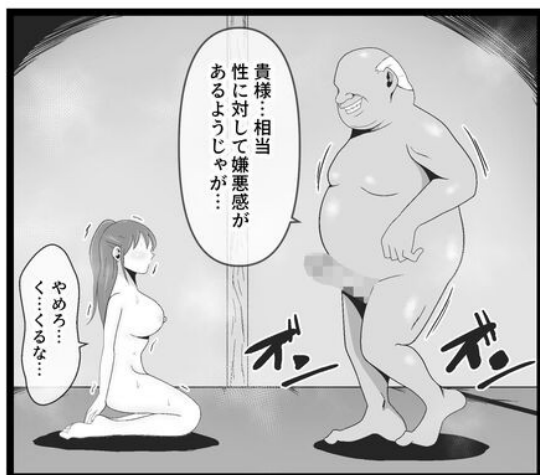








えっ…いや…ちよつと待て
私…今何を考えてた…
あれは男のモノだぞ…そんな



貴様…相当
性に対して嫌悪感
あるようじゃが…

やめろ…
く…くるな…

美味しそうなモノは…
❤️



うっ…あれは…
何だあの…



この儂が性交の素晴らしさを
教えてやる

いい

グチュ

セク

ふんぐうつつ
❤️

もみん



貴様の両親とてそうじゃ
貴様は両親の性交によって
ここに存在しておる



快楽を受け入れろ
それこそが生物のあるべき姿
自然な形よ…生物は性交によって
子孫を残してきたのじゃ

いやだ…いや
絶対受け入れて
たまるか…

いやあああ♥やめてっ♥やっ…んっ♥
いやんっ♥やめっ…んっ…♥



気持ち悪い…



ふふ可愛いやつめ
俺にこうして
欲しかったのだろう
今夜は一晩中抱いてやる



父上…何故…
母上がいながら…



両親…父上…





我慢できっ…



ほれほれどうじゃ
高まってきたじやろう…
爪先から頭の先に向かって
快感が駆け上がってくるじやろう

あっ♡やっ♡いやっ♡
やめ…♡あっ♡
やだんっ♡もう…いやんっ♡

何これ…すごい…あっ♡
うそ…何かくる…ダメ…
もう…



いやああああああ♡



頭が真っ白…
何にも考えられない…
どんだん私が…
私じゃなくなっていく



よし
これで良い…



これが性交—

この後少し寝かせておけば
丁度いい頃合いになるじやろう

これが快樂—









いやだあー！
もうやめてー！

キャハハハハハ♥
花蓮ちゃん何この乳首…
変態さんなんだから
ほらほらすっごいよこれ♥
生き物みたいに
ウネウネ動いていっぱい汁が
飛び出てくる♥



ぶははは！きたきた
いよいよ受妖するぞ

いやだ…私…
本当にこのまま…



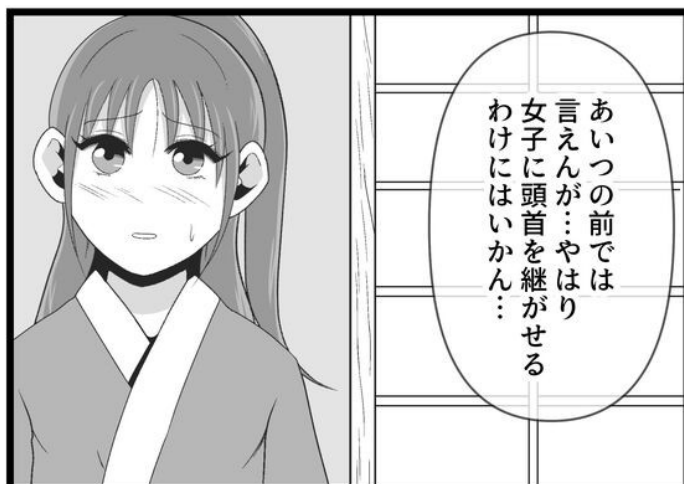
やつ！

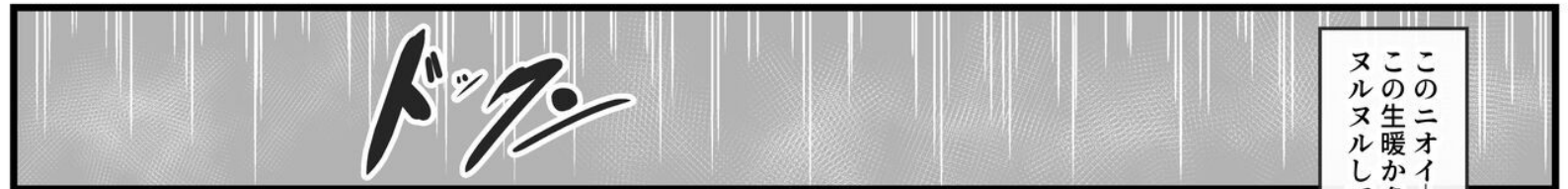
プチ♥

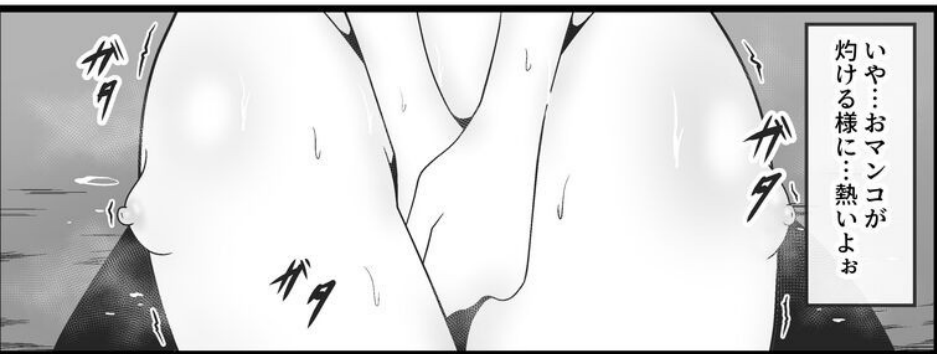
ほれ！
まだ受妖前じゃ
人間の内に一度これも
味わっておけ



父上







いや...おマンコが
灼ける様に...熱いよお



えっ? やだやだ...
うそっ...おマンコから
何か生えて...

ふぐうっ...あああ...
あ...あ...



いっだ! 痛い痛い痛いっ!
いっだあああいっ!

受妖完了じや

いやあ：何これ：

ハァ♡

ハァ♡

ハァ♡

後は儂のチンポに
むしゃぶりついて
“孵化”するのみよ

何それ？
花蓮ちゃんったら
ど変態なんだから♡

違う：
私は変態じゃない：

ぶはははは
さっさと孵化してしまえ花蓮
さすればその無様なチンポもどきも
キレイさっぱり無くなるわ

貴様に最後に生えた
その異物は貴様がまだ
人間である最後の証：
人間の霊力を最期に吐き出す
排泄口となっておる
孵化して全霊力を吐き出せば
それは無くなるじやろう

違う…いやだ
私は人間だ…



くくく…観念しろ
花蓮

性獣になんて…
なつてたまるか



さあ…仕上げじゃ…

私は誇り高き
光月家の長女…

うあああああああああ!!

光月花蓮だあ—!!







だゝめ



ダメだ…私じゃ…
こいつには勝てない…

うっ…



あああああ…

こいつ…たぶん私が
今まで出会った妖の中で
最強格の化物



何だこの力は
ピクリとも動かない

花蓮ちゃん
めいよ❤️
おいたが過ぎるわ❤️



ねえ花蓮ちゃん
あたし達は仲間よ
早く心を開いて♥



んふっ♥



あっ♥んっ♥
ふうあああ♥
いやだああ...

しゃぶってる...
私の偽チンポ...
最後の人間の証



もう何が何だか分からない...
気持ち良いのと...切ないのが
ごっちゃになって...何故だか
涙が次々溢れてくる

やああん...やめてえ♥
もう吸わないでえ♥



あっ♥いやだあ♥

つかまえたっ♥



そうじゃぞ花蓮
儂等はお前の仲間じゃ

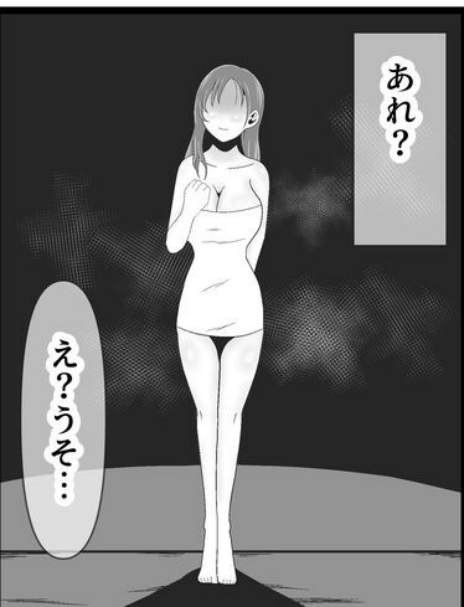
よしこのまま
興奮を最大限まで高めて
意識を奪う

“孵化”の儀は
自分の意思で“性汁”を
飲み込まねば成立せんでのお

いやああっん♡
ちが…う…んっ♡



あたし…今何してるの
ダメ…もう何が何だか
わけが分からない…



あれ？

え？うそ…



でも…やだあ
人間でいたい…

私は人間…妖には
なりたくない…



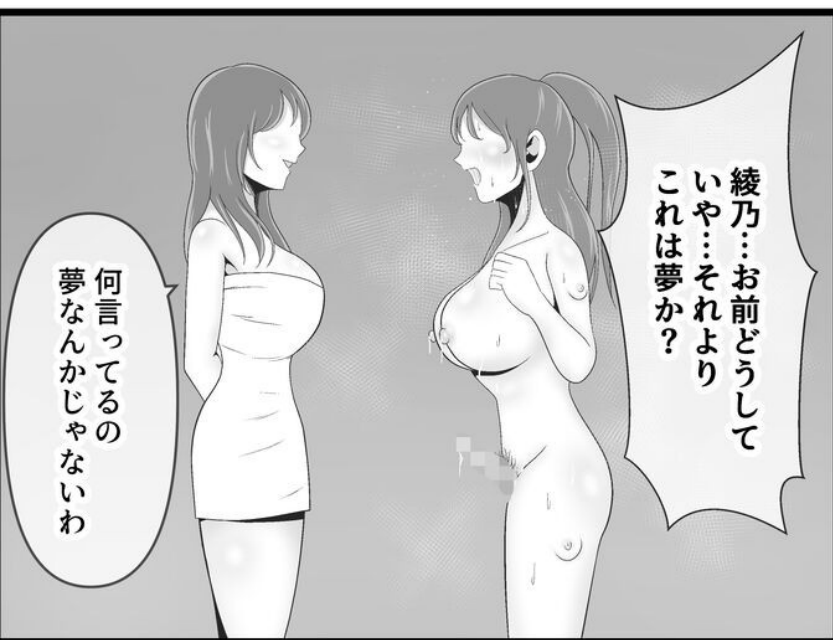
最期の仕上げじゃ

ほれほれどうじゃ
これが気持ち良い事には
もう気付いておるのじゃろう？



確かに…
気持ち良い…

ふううっ♡
きもち…いい♡





綾乃…ホントにダメ
そんなとこ触っちゃ…
あたし…♡

綾乃が…あたしのを
触ってる…



やっ♡綾乃
そこはダメだっ♡

ふふ♡どうして？
もうこんなに硬くして
興奮してるの？カワイイんだ♡

スコ♡
スコ♡



んあはあっ♡
そこはっ…

ふふふ♡

ギッ♡



花蓮♡



ふううっんっ♡

好きな者同士でエッチな事するのは
悪い事じゃないんだぞ♡

綾乃…あやの…



見て♡私の裸
おっぱいやマンコ♡

パラ♡

プル♡

ふあっ…
うあああああ…

ずっと貴方の気持ちには
気付いてたわ…
私も男なんて大嫌い
大好きなのは貴方一人よ

むぎゅっ♡

きて♡
私とめっいっぱい
愛し合いましょ♡

お前の…この
おっ…おっぱい…
舐めてもいいか？

もちろんよ♡

やん♡

あやの♡

んふうんっ…

ずっと舐めたかった
綾乃のおっぱい…すごく甘酸っぱいって
見た目より硬い…あやの…

硬くて…ヌルヌルして…
ああ…あやの…

チュル♡

チュル♡



ぶははははっ！
無我夢中とは
この事じゃのお

んふうう…
んっ…んぐっ…んっ



はあ♥
一時はどうなるかと
思っただけ良かったわ

これで花蓮ちゃんも
立派な性獣になれる♥



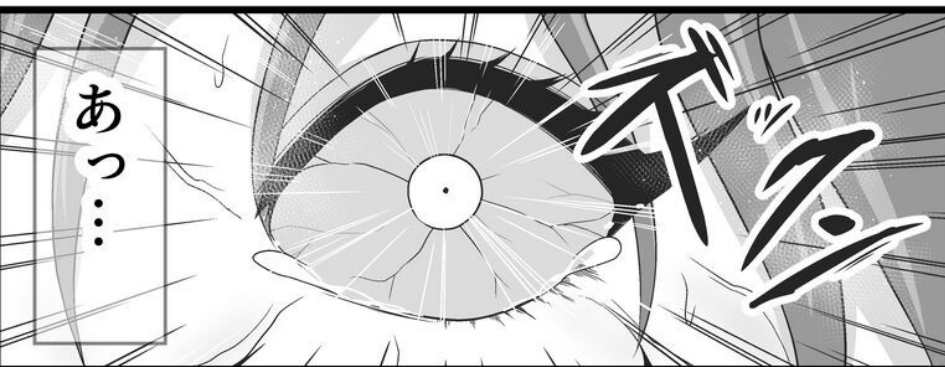
これこれ
吸い過ぎじやて花蓮

もお聞こえては
おらんか…

んふうう…
あやのおお…
あやのおお…



よし
たんまりと喰らえ





腕にあったニセチクビ…
痒くてキモチいい…ウニョウニョして…



すっごく甘ったるいニオイ
これって…あたしのニオイ？

あああ…何だか
全身がムズムズする



スゴイ…いっぱいチンポみたいなのは
はえてきた…あたしは…
誇りたかき…こうづきけの人間なのに

コウヅキ…？ってなに
コウヅキ…父上…スキ…でも
アタシをハハウエを裏切った…



あれ？
あたしって何だっけ
アレ…ニンゲン…てなに
キモチ良くナイ…ワ



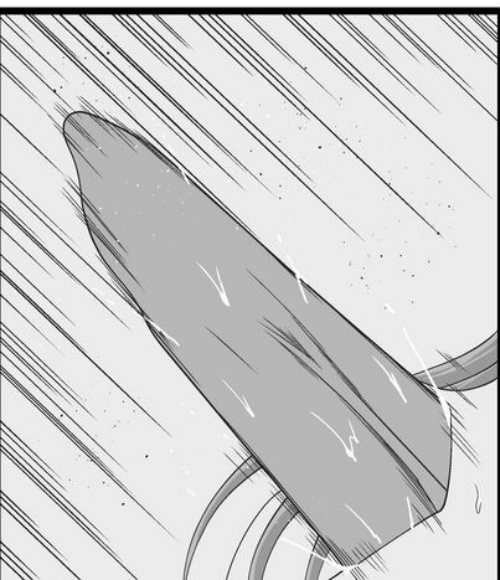
人間…きらい…キライ
男…オトコもキライ
オトコ…チンポ…



ニンゲン…チンポ…マンコ
エサ…ゼンブエサ…
アタシは…アレ？
キモチイイ…ニンゲンキライ

キモチイイ…ニンゲン
タベタイ…オイシイチンポ
イッパイタベル…アタシは
ソウ…アタシハ…

ポッ



ポッ

おお何と
美しい姿よ

僕は感動
しておるぞ…



性獣
“光月花蓮”



やん♥すごい…これ
あたしの手足みたいに
クネクネ動く



はああ♥すっごい♥
これが性獣となって見る世界…
あたしが次々に葬ってきた子達は
こんな気持ちいい世界を見たのね♥

すっごくお腹が空いた♥
すぐにでも人間の
チンポが喰いたい♥
おマンコがウズウズしちゃう♥



おおお…よいよい
かまわんぞ花蓮
それよりお前の毒汁は極上の味じゃ



あっ…ごめんなさい
お館様…気持ちよくなつて
ついビュって出ちゃって…



ホ：ホント？
あたしの毒汁ってそんなに美味しい？
あたし：生まれたばかりだから
自分の毒汁の味も分からないし：
気持ちよくなると色んなところから
汁がピュピュツツて出ちゃって：えと

ああ…とっても美味しいとも！
濃厚でコクがあつて…それでいて
とても甘味のある奥深い味じゃ
自信を持って花蓮お前はもう性獣…
人間ではない立派な妖じや！



あたし…まだ処女なんだよ！
性獣なのに…まだ男を知らないの…
だからお館様に捧げたいの！人間の頃から
大事に守ってきた処女を…お館様の
太くて男の匂いのするチンポに捧げたい

ズブツって貫いて！
あたしの処女膜破って…
あたしに本物の快楽をメスの悦びを教えて！
あたしを真正銘本物の性獣に変えて！

ぱあ♡

トロ♡

トロ♡

よからう望みを叶えてやる
そして…お前の名は今日から
「八つ手姫」じゃ
人間の名は今日をもって捨てよ

はい
よろこんで♡

いっ…た…んんあっ♡

ズブツ



あっ♥あん♥あん♥

あっ♥やんっ♥あっん♥
お館様のチンポすっご...いっ♥

あたしの処女膜
破って...んっ♥

奥まで
届いてるう...ああああん♥



針姫ちゃんお手柄だわ♥
素晴らしい演技だったわよ♥



もうズルいんだ
八っ手姫ばっかり



どうじゃ八っ手姫
痛くはないか?



うん♥ちょっと...
痛かったけど
今はすっごく気持ちいい♥

はあお館様大好き♡
あたしを性獣にしてくれて
ありがとう♡

あたしこれから
いっぱい人間のチンポ喰いまくるね
ずっと傍に置いて可愛がってね♡

アチャ♡

ああ勿論じゃとも
お前はきつとこれから
もっと素晴らしい性獣に
なれるぞ

まいっか♡

ニコッ

うん♡良かった良かった
これでまた一人仲間が
増えたわ

さて…あれ
そういえば二人
忘れてるような…

ありがとう♡
お館様♡